

会議等名	平成19年度 第9回 海老名市総合計画審議会
日時	平成19年10月25日(水) 13:00~15:00
場所	海老名市役所 3F 政策審議室
出席者	委員：鈴木(守)会長、矢野委員、橘川委員、鈴木(輝)委員、三宅委員 森川委員、石井(正)委員、赤井委員、間宮委員、高林委員 石井(伸)委員、西井委員、岡本委員、菅谷委員 (欠席 井上委員) 事務局：山本企画部長、高橋企画部次長、瀬戸企画政策課長、秦主幹 告原主査、江下主査、内田 (傍聴者 0)
<p>1. 開 会 (事務局)</p> <p>2. 会長あいさつ(会 長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「諮問」がなされた、海老名市第四次総合計画「基本構想(案)」及び「基本計画(案)」について、5回にわたり集中的に審議を進めてきた。 ・本日は、「答申」を取りまとめ、市長へ提出する。 ・将来の海老名市のために、市民・行政・総合計画審議会ともども議論を重ね、策定を進めてきた第四次総合計画である。 ・取りまとめについて、ご理解とご協力をいただきたい。 <p>3. 議 題(進行 会 長)</p> <p>(1)答申書について</p> <p>○事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会での審議内容から、答申書(案)を作成 ・基本構想(案)・基本計画(案)ともに、「概ね、内容は妥当」 ・附帯意見について留意。 <p>《意見・質疑等》</p> <p>○ 保育園や幼稚園への対策、小6までの小児医療費無料化等、少子化対策についての記載が必要なのではないか？</p> <p>⇒「政策目標 子育てへの支援」における施策・事業での取り組みを進める。</p> <p>○計画での位置付け等がなされていない部分や事業推進に当たっての留意点等について、答申をするものと考えている。</p> <p>○「活力ある産業のフィールド」において、「農業」に比して「商工業」の記述が少ない。ある程度のバランスを考慮すべきでないか。</p> <p>《答申とりまとめ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(案)に対する修正はなし。(案)どおり「答申」を決定 <p>4. 答 申</p> <p>○会長から市長へ「答申書」を提出</p> <p>○写真撮影</p> <p>○市長お礼の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長、委員の方々にあつては、8月の諮問以降、積極的、集中的に審議をいただき、大 	

変、ありがたい。

- ・第四次総合計画の策定に当たっては、1万人市民参加による計画づくりを進めてきた。
- ・地域部会、タウンミーティング、各種団体・企業や小中学生との意見交換、ホームページの活用などにより、目標を上回る多くの方々に参加をいただいている。
- ・少子化や高齢化、農地や緑地・自然環境の保全、産業の振興、都市基盤整備、教育環境整備、行財政の効率化・健全化など、海老名を取り巻く多くの課題について、市民・審議会でも議論されている。
- ・将来都市像「快適に暮らす 魅力あふれるまち 海老名」の形成を目指し、市民、総合計画審議会の思いを受け止め、将来の海老名のために、体力のある今のうちに成すべきことは成さなければならないと考えている。
- ・確固とした考え方のもと、事業の体系化を図り、課題の明確化や目標指標の設定など、実効性を高めた、健全・適正な計画としていく。
- ・頂戴した「答申」については、その重みを十分に認識した上で、今後の計画策定を進め、来る12月議会への上程を図る。
- ・長期間にわたり、ご審議をいただき、ありがとうございました。

《意見交換》

- 農業、景観等の観点からのまちづくりが重要。合意形成・実現が難しいが、議論に加わることができた。
⇒・ 農業は国における基幹産業である。食糧自給確保のためにも、国・県・市・農業従事者の役割分担のもと、振興を図って行かなければならない。
 - ・ 農地保全、集約化、地産地消について取り組んでいく。
- 小児医療費所得制限撤廃の考え方をうかがいたい。
⇒・ 10%が制度の恩恵を受けていなかった。子どもは平等である。
 - ・ 10%の制限は制限ではない。50%の制限が制限と考える。
- 健全な行財政運営を進めてきている海老名市であるからこそ、国・県に依存することのない、市独自の施策展開を図っていただきたい。
- 効率的な行財政運営の推進に当たり、人口は増加するが市職員数は減少することであるが、その実態は？ 職員数を減らして事務が成り立つのか？
⇒・ 845人→802人へ純減する。最終的には750人程度まで削減する。
 - ・ 指定管理者導入、職員管理のシステム化等により、費用削減・市民サービス向上が図られている。
 - ・ 短期的な費用負担は要するが、長期的にはコストダウンが図られる。
- 医療費支給をはじめ、各種手続きの簡素化を図られたい。
⇒ 関係機関等への周知、徹底を図る。
- 広域行政化は、行政の効率化を進める上で必要なことであるが、反面、地理的な縁辺部が取り残されることのないよう、十分考慮し、推進されたい。
⇒・ 神奈川県は合併の推進を図っている。財政力がない自治体は合併せざるを得ない。
 - ・ ゴミ処理、斎場等、広域化が効率的なものは、広域で対応していく。
- 海老名市農業の重要性から、答申書において、農業に対する記述を多くしている。

行政が主導的に農業問題に取り組んでいただきたい。市職員の意識改革も必要。

⇒ 農業問題は大きな問題。柔軟な機構や市職員の意識啓発に努める。

○ 都市間競争が激化する中で、魅力ある海老名市の形成に向けた事業展開を図られたい。

○ 横浜市では、150万本の植樹に当たり、苗木9000本を配布するようである。

○ 「ひびく」だけでは「ひびきあう教育」にはならない。市民の理解・協力のもと、家庭・地域・学校が共通の視点で子どもを見守ることが必要。

⇒ 時代は変化してきているが、地域コミュニティの重要性は変わらない。
地域力アップのために、地域・自治会への分権・支援を進める。

○ 地域の実情・課題に即した地域分権・支援措置を図りたい。

⇒ 実施計画により、数値目標を明示し、事業推進を進める。

5. その他

・日程確認・報告

第10回総合計画審議会 11/末

議会上程 12月議会

・前回会議録の確認 → HP掲載

6. 閉 会

以 上